

# 幼児期の育ちや学びを 学校教育につなげる

～「かけがわ型架け橋カリキュラム」活用に向けて～



令和7年3月

掛川市こども希望課

掛川市教育委員会学校教育課

# 目次

01	掛川市における園小の円滑な接続 に向けての歩み	p. 2	06	授業づくり ～授業の質の向上を目指して～	p. 11, 12
02	園小の接続が進むと見られた変容 ～研究指定園・校の実践より～	p. 3, 4	07	スタートカリキュラム ～弾力的な時間割の工夫～	p. 13
03	かけがわフェーズ	p. 5, 6	08	「かけがわ型架け橋カリキュラム」の 取組の流れ	p. 14
04	学園を生かした組織体制づくり ～互いの教育の理解促進を～	p. 7, 8	09	「かけがわ型架け橋カリキュラム」	p. 15, 16
05	保育づくり ～保育の質の向上を目指して～	p. 9, 10	10	令和6年度研究指定園・校の 「かけがわ型架け橋カリキュラム」	p. 17～20

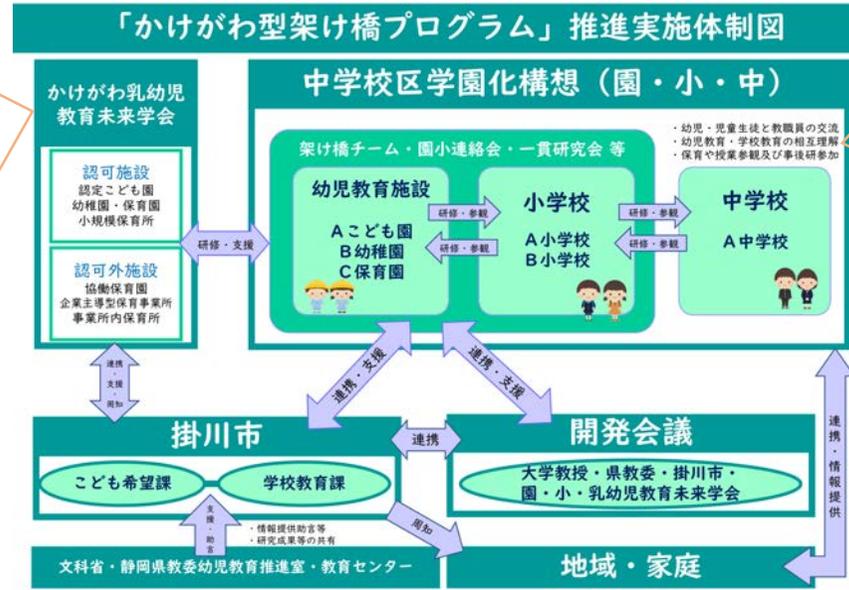
※『こども』の表記については、様々な考え方があがるが、本事業は文部科学省の委託事業の中で作成しているため、本書では『子供』と表記する。

※関連・参考資料を最終頁に掲載。

# I 掛川市における園小の円滑な接続に向けての歩み

平成28年度に「子供たちの未来のために『協働』の理念でつながり、切磋琢磨して『質の高い教育・保育』をつくり出す」を目的として「**かけがわ乳幼児教育未来学会**」を設立。公私立を問わず市内乳幼児教育施設が加盟し、横のつながりをもつ。

令和元年度より保育者と教員を対象とした市主催の研修会「**幼小の円滑な接続に向けた研修会**」を開催。令和4年度からは年2回開催し、実践発表や講話、グループワークを実施。



◎令和4年度より文部科学省「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の採択を受ける。  
→研究指定園・校：掛川こども園・桜木小学校、おおさかこども園・大坂小学校

昭和44年頃から小中一貫教育を推進し、平成25年度より「**中学校区学園化構想**」のもと九つの中学校区を「**学園**」と呼び、各学園内の園小中が連携を強化。



令和2年度から令和3年度にかけ「**園小中一貫教育研究委員会**」を設置。より実践的な園小の円滑な接続に関して研究し、「**かけがわ型育ちと学びのジョイントブック**」を作成。



開発会議を設置し、「**かけがわ型架け橋カリキュラム**」の開発スタート

- ◎令和4年度の開発会議で協議したことを、「**かけがわ型架け橋カリキュラム作成に向けて**」（冊子）にまとめた。
- ◎令和5・6年度は、研究指定園・校で作成した「**かけがわ型架け橋カリキュラム**」を、実際に研究指定園・校において運用を始めた。



## 2 園小の接続が進むと見られた変容 ～研究指定園・校の実践より～

教職員が子供の捉え方を変えて接した\*ことで、子供の姿に様々な変容が見られました。これが円滑な接続に取り組む良さです。その一部を紹介します。

※教職員が子供の捉え方を変えるとは、例えば、「園児の遊びや生活の中に学びがある」、「園児の遊びは児童の学びに通じる」、「園児の夢中になって繰り返し遊ぶ姿は探究の基礎となる」等の捉え方をすることです。詳細は、本書のp.9～12に記載しています。

### 園児の姿の変容

経験したことを思い出しながら、  
考えていることを言葉で伝える  
園児の姿の増加



泡に色をつけたいから色水がほしいな。

円滑な学校生活の  
スタート



園の環境を生かした場で  
子供が安心して学習

### 児童の姿の変容

主体性を発揮する児童の姿の増加



ブロックで考えると説明できるよ。

今日は、ブロックで考えよう。

小学生になった自分をイメージ



小学校に入ったら私も作りたい。



小学校は、こういうところなんだな。

友達と協働的に関わる  
児童の姿の増加

せーのでやろう。



どう思う？



小学校への期待・憧れ



1年生は優しいな。

小学校への不安解消



小学校が楽しみ。

登校渋りの児童の減少

園と小学校の関わりが増え、**顔が見える親しい関係**になった。

互いの保育・授業参観の時に、保育者・教員の意図を考えたり、園と小学校のつながりを意識したりするようになった。

**保育への意欲**が高まった。

園から小学校＝人生の中の初めての接続という大切な期間を担っていると再認識

入学当初の時間割を弾力的にした。

小学校1年生はゼロからのスタートではなく、**園での遊びを通した経験が土台**になっているという意識の変化。

**保育の見直し**につながった。

園の遊びが小学校の学びにどのようにつながるか分かった。

園での経験を生かした**子供主体の授業づくり**へ

- ・教員が子供の「〇〇したい」を引き出す。
- ・教員が子供のもっている力を引き出す。
- ・教員が園小接続以降6年間での発達段階に応じた子供の育成を意識する。
- ・子供が見通しをもつ。
- ・子供が課題解決に向かう方法を自己選択する。
- ・子供が協働的に学ぶ。

子供たちが**様々な体験・経験**をするように心掛けた。

### 3 かけがわフェーズ

あなたの学園、園・学校はどの段階ですか？

学園、園・学校の実態に合わせて、複数年かけてフェーズ4を目指しましょう。

子供が主体的に  
自己を発揮しながら  
学びに向かう

架け橋は互いに歩み寄ること

#### フェーズ 1

- ①園・校内体制の基礎づくり
- ②園・小での活動の共有
- ③子供の交流

#### フェーズ 2

- ①園・校内の先生方への意識啓発と参画
- ②相互の教育内容や方法に関する理解の共有
- ③子供の交流の推進

#### フェーズ 3

- ①カリキュラムの実施・検証
- ②相互の教育内容や方法に関する理解の深化
- ③子供の交流の充実

#### フェーズ 4

- ①持続可能な組織体制の構築
- ②相互の教育内容や方法に関する理解の改善・発展
- ③持続的・発展的な子供の交流実施

育ちと学びの見通しをもった保育

育ちと学びのつながりをふまえた教育

互いの保育・教育活動の尊重とそれぞれの専門性の発揮

相互の教育内容や方法を理解

## フェーズ 1

- ①  園・校内の先生の業務分担の中に連携窓口を位置付ける。  
 園・小の教育課程に園小接続の取組（カリキュラム等）を位置付ける。
- ②  園長、校長間や担任間での関係をつくり、互いの保育・授業を気軽に見合う。  
 子供たちがどのような流れ（1日、月、年間）で生活しているのかを共有する。
- ③  園同士が声を掛け合い交流計画を立てる。（1校多園）  
 園児が小学校の校庭を散策したり、遊具で遊んだりする。  
 園児が小学校に行き、行事などの機会に交流したり、1年生の生活科授業等に参加したりする。



・ジョイントブック  
・『カリキュラム』  
作成に向けて

## フェーズ 2

- ①  園・校内研修等において、職員全員で架け橋期のカリキュラムに取り組む意義やねらいを共有する。
- ②  学園接続部会の計画のもと、学園内で保育・授業参観を行い、全職員が互いの教育を見合う。  
 ジョイント活動をもとに、園での経験と小学校の授業内容のつながりについて、具体的にイメージしながら語り合う。
- ③  事前打合せを実施し、幼児・児童の活動のねらいの共通理解、活動内容の把握、園・小での子供の姿を伝え合い、先生がどのような関わり方をするのかの共通理解を図る。

## フェーズ 3

- ①  カリキュラムと実践をつなげ、実感を伴った理解のもとカリキュラムの検証をする。
- ②  学園内の公開保育・授業前に、園長・校長の講話を聞き、視点を示して参観する。  
 学園内の公開保育・授業後に、混合グループで視点に沿って協議を行う。  
 ジョイント活動をもとに、園での経験と小学校の授業内容のつながりについて、具体的にイメージしながら語り合うことで、相互の教育の見方や子供の捉え方の変容等について意見交換をする。
- ③  事後打合せを実施し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、各先生が捉えた子供の姿や先生の関わりについて意見交換をする。

## フェーズ 4

- ①  学園、小学校区、園・学校において、個人に依存しない持続的な体制をつくる。  
 学園接続部会の定期開催を継続する。
- ②  協働してカリキュラムの作成や実施の過程における気づきを大切にして、ジョイント活動をもとに、相手の教育の内容や方法について理解し、園・小の取組の改善につなげる。
- ③  子供同士が自ら関わり合い、双方が夢中になり学びがある活動とする。  
 事前事後の打合せを含めた交流の記録を蓄積し、交流の充実を図る。

## 4 学園を生かした組織体制づくり～互いの教育の理解促進を～

### 園・小学校

- ①園・小の教育課程に園小接続の取組（カリキュラム等）を位置付ける。
- ②地域や保護者へ園小接続の取組を周知する。→ 園・学校便り、小学校入学説明会

### 小学校区

#### ①園小連絡会の活用

【メンバー】園務主任と年長担任、主幹教諭・教務主任と1年生担任。

（副園長、教頭、養護教諭等各小学校区の実態に応じて）

- 【第1回内容】
- ・1年生の子供の姿を見て、育ちを共有する。
  - ・カリキュラムを基に、実際の子供の姿から保育・授業のつながりを話し合う。
- 【第2回内容】
- ・年長児の子供の引継ぎをする。（資料は市内同じ様式）
  - ・園・学校生活について以下を参考にして互いに聞き合う。

#### 園から小学校に質問する内容例

- ・入学当初に生活面で子供が難しさを感じる場面（着替え、給食、手洗い、トイレ等）
- ・1日の生活の流れ（特に4、5月）
- ・4、5月の時間割や授業内容
- ・給食の配膳の仕方
- ・登校や下校の様子
- ・生活のきまりや約束

#### 小学校から園に質問する内容例

- ・1日の生活の流れ（朝の会、給食、帰りの会等）
- ・年度末のカリキュラム（月案、週案、日案）
- ・1年生に向けて取り入れていること
- ・年長時に特に大切にしている行事や核となる取組
- ・係活動や当番活動
- ・座って行う活動の内容と時間
- ・自己肯定感につながる取組

#### ②職員の交流（以下は取組例）

- ・夏休み等に学校の教員が園に行く。知り合うことから始める。
- ・1年生担任が、園の前年度年長児担任に、ジョイント活動の取組内容（環境づくり、子供の様子等）を聞く。
- ・互いの職員会議や園・校内研修に参加する。
- ・公開保育・授業期間を設けるなど、互いの保育・授業を気軽に見合う。



## ① 接続部会の設置※

【メンバー】園務主任と年長担任、主幹教諭・教務主任と1年生担任。

【第1回内容】・昨年度末に前任が作成したカリキュラムを、今年度の子供の実態に合わせて加除修正したものを持ち寄り、目指す子供の姿等を共有する。

・学園で統一したジョイント活動を一つ位置付ける。

【第2回内容】・ジョイント活動を核に、今年度の実践の振り返りをする。

・次年度のカリキュラムの方向性（目指す子供の姿、職員と子供の交流計画）を共有する。

【報告】接続部会の協議内容を当番校の主幹教諭・教務主任が事務局（学校教育課）に報告する。

## ② 園・学校の公開保育・授業の事前事後研修の実施※

・公開保育・授業前：園長・校長が幼児教育・学校教育について話をする。

・園の参観の視点：子供の遊びの姿から何に夢中になって楽しんでいるか。

遊びの中でどのような力が育成されているのか。「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」を手掛かりに育ちを支える園の先生のかかわりや環境づくりについて。等

・公開保育・授業後：園・小・中混合グループで視点に沿って協議する。

市作成の「かけがわ型育ちと学びのジョイントブック」と「『かけがわ型架け橋カリキュラム』作成に向けて～幼児教育を学校教育へつなぐ～」の2冊を活用する。

## 市主催の研修会

### ① 幼小接続研修会（幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会）

【対象者】園務主任または年長担任、主幹教諭・教務主任または1年生担任。

【第1回内容】・小学校区または学園で、今年度実施するジョイント活動について語り合い、互いの教育の理解を深める。

・カリキュラムを持ち寄り他園・校と情報交換をする。

【第2回内容】・今年度のジョイント活動の実践を中心に他園・校と情報交換する。

・小学校区または学園で、次年度のカリキュラムについてジョイント活動を核に保育・授業のつながりを話し合う。



### ② 2年次研修幼稚園参観（学園内の園で実施）

## 5 保育づくり～保育の質の向上を目指して～

### 環境づくり

- 子供の興味・関心や季節感に適した環境をつくる。
- 自ら選んで遊ぶ中で、「やりたいな」と興味・関心を持ち、いろいろな経験ができる環境をつくる。
- 遊びが進む中で、一人一人の表情やつぶやきから子供の思いや気づきを理解し、遊びの場を再構成する。



・ジョイントブック  
・『カリキュラム』  
作成に向けて



幼小がつなが  
るってどうい  
うこと？



この積み木はあと何枚  
あればいいかな。

この積み木より  
長い積み木は  
ないかな。

柿が2個の方  
が重い!



こんなに大きな  
シャボン玉がで  
きた!



### 子供理解

- ♡ 一人一人の子供の思いに寄り添う。
- ♡ 子供の実態に応じた環境、活動（学習）内容を設定する。

## 保育づくり

- 一人一人への「ねがい」をもち、遊びや生活を展開する中で、育みたい資質・能力の視点から学びを価値付ける。
- 自分の思いをもって十分遊び込む中で、自ら「やってみよう」という意欲を育てる。
- 夢中になって遊ぶことで得たものが学びとなる。そのために、子供が「もっとこうしたい」、「明日もやりたい」と思えるような援助をする。
- 遊びの中での子供の気付きの芽を、保育者は見守り、必要に応じて援助する。
- 子供は、友達遊びを見て刺激を受ける。友達と関わりながら、遊びが発展するような環境構成や援助を工夫する。
- 様々な生活経験や自然体験、五感を活用したリアルな体験を積み重ねる。



ひとつどんぐり  
ひとつのかお  
ふたつどんぐり  
ふぐのかお



ひとつ…ふたつ…  
みっつは何の顔かな。

ふわ  
ふわ!



クリーミーに  
なってきたね。

## 6 授業づくり～授業の質の向上を目指して～



・ジョイントブック  
・『カリキュラム』  
作成に向けて



幼小がつなが  
るってどうい  
うこと?



「3つの創る力」

### 環境づくり

園の環境を生かす  
→子供が安心して生活・学習できる  
幼児期の育ちや学びをつなげる

- 使いたい材料や道具等を自分で選び、すぐに活動できる環境をつくる。
- 子供に園の経験を聞き、どんな材料が必要か、どこに何を置くか等、子供と一緒に環境をつくる。
- 教室内で子供が自由に席を移動し、同じ方法で取り組む友達と相談できる環境をつくる。
- 単元や本時につながる園の写真や、1年生での学習や他教科の活動内容を掲示する。
- プレイマットやローテーブル等を生活科室や廊下踊り場等に設置する。



園の時より大  
きいシャボン玉  
を作りたいな。



毛糸を巻こう。太い  
毛糸がいいな。

### 子供理解

- ♥ 一人一人の子供の思いに寄り添う。
- ♥ 子供の実態に応じた環境、活動（学習）内容を設定する。

## 授業づくり 園での経験→日常生活⇔学び

- 学習指導要領に基づき、育みたい資質・能力を「目標」として的確に押さえる。
- 子供の実態に応じて弾力的な時間割の工夫をする。【p.13参照】
- 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫をする。  
【参照：「『かけがわ型架け橋カリキュラム』作成に向けて」p.12,13】
- 園での経験を引き出すために、声掛けをしたり学びの方法を広げたりする。
- 全員が同じ方法で課題解決に向かうだけではなく、いろいろな方法を示し、子供が自己選択できるようにする。
- 子供が無自覚にやっていることを、教師が意図的に声掛けし、子供の自覚を促し、言葉等で考えや思いを表出できるようにする。
- 協働的に学ぶための学習課題の設定やグループ編成をする。
- 子供と学習の見通しを共有したり、一緒に学習計画を考えたりする。



どうやってら  
そんなにいっ  
ぱいできた？



バッタの絵  
カードで考え  
ると…



生活科で扱っている  
生き物マップの数を取  
り上げて算数科の授業  
を行う。

# 7 スタートカリキュラム～弾力的な時間割の工夫～

令和6年度の中央小学校の実践です。

【第1週】自分のことは自分でやり、新しい友達と仲よくしよう

	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12
	月	火	水	木	金
せいかつたいむ	4時間 給食なし 新形式 始業式	4時間 給食なし 通学区児童会	給食開始	身体測定	
なかよしタイム	登校班で集団下校	登校班で集団下校			
まなびたいむ					
7:45	じぶんのほしよをおほえよう	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう
8:00	あさのしたくをしろう【裁】	みんなであそびがてきかな【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】
8:10					
8:25	しきょうしたいいくかんておはなしをきこう【行】	ばんごうじゆんでならんでみよう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】
8:40					
8:55	やすみじかん	やすみじかん	園を中心としたあそび		
9:05	リズムあそび、よみきかせ	ともだちいっばいだいさくせん	リズムあそび、よみきかせ	しんたいそくてい・じぶんのからだをしろう【学】	リズムあそび、よみきかせ
9:20	2	へんじのしかたをしろう・じぶんのなまえをいおう【国】	かきたいものなまえをいおう【国】		さんすうぼくすてあそぼう【算】
9:35					
9:50	やすみじかん	・じこしょうかいをしよう【生】	げごうぐるぶのやくそくをしろう【学】	リズムあそび、よみきかせ	じぶんのことをかいてみよう【道】
10:00	3				
10:15					
10:30					
10:45	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん
10:55	かえりのしたくをしろう【学】	かえりのしたくをしろう【学】	きゅうしよくのやりかたをしろう【学】	もっどもだちいっばいだいさくせん かきたいものなまえをいおう【国】	もっどもだちいっばいだいさくせん かきたいものなまえをいおう【国】
11:10	4	つうがつくじどうかい・じぶんのつうがつくをおぼえよう【行】		きゅうしよくのじゆんびをしろう	きゅうしよくのじゆんびをしろう
11:25					
11:40	きゅうしよく	どうこうぐるぶでげこうしよく	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう
11:55					
12:40	どうこうぐるぶでげこうしよく	どうこうぐるぶでげこうしよく	かえりのしたくをしろうぐるぶでげこうしよく	かえりのしたくをしろうぐるぶでげこうしよく	かえりのしたくをしろうぐるぶでげこうしよく
12:50	げこう	11:50	12:50	12:50	12:50

【第2週】学校や先生、友達のことをもっと知ろう

	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
	月	火	水	木	金
せいかつたいむ		避難訓練			親子読書ふれあいデー～4/21
なかよしタイム					
まなびたいむ					
7:45	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう	あさのしたくをしよう
8:00	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】
8:10					
8:25	1	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】	みんなであそぼう【裁】
8:40					
8:55	園を中心としたあそび		小グループを中心としたあそび		
9:05	ほくじょうたんけんをしよう	1から5までのかずをかぞえてみよう(3→1.2→4.5→まとめ)			
9:20	2	えにおはじきをおこう	1から5までのすうじをかこう		
9:35					
9:50	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん
10:00	もっどもだちいっばいだいさくせん	こえにだそう	せんせいといっしょにかがこうをたんけんしよう	こえにだそう	せんせいといっしょにかがこうをたんけんしよう
10:15	3	えをみておはなししよう	えをみておはなししよう	えをみておはなししよう	えをみておはなししよう
10:30					
10:45	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん	やすみじかん
10:55	がっこうには、どんなへやがあるのかな	ひなんくんれん	・たんけんをふりかえろう【生】	はしてみよう【体】	・たんけんをふりかえろう【生】
11:10	4	・じしんがあったとき、どうするのかな【行】			
11:25					
11:40	きゅうしよく	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう	まなあをまもってきゅうしよくをたべよう
11:55					
12:40	どうこうぐるぶでげこうしよく	どうこうぐるぶでげこうしよく	かえりのしたくをしろうぐるぶでげこうしよく	かえりのしたくをしろうぐるぶでげこうしよく	かえりのしたくをしろうぐるぶでげこうしよく
12:50	げこう	12:50	12:50	12:50	12:50



個または少人数で、粘土、色塗り、折り紙、ブロック等で思い思いに遊んだ後は、運動場に出て、自分で選んだ遊びを楽しむ。

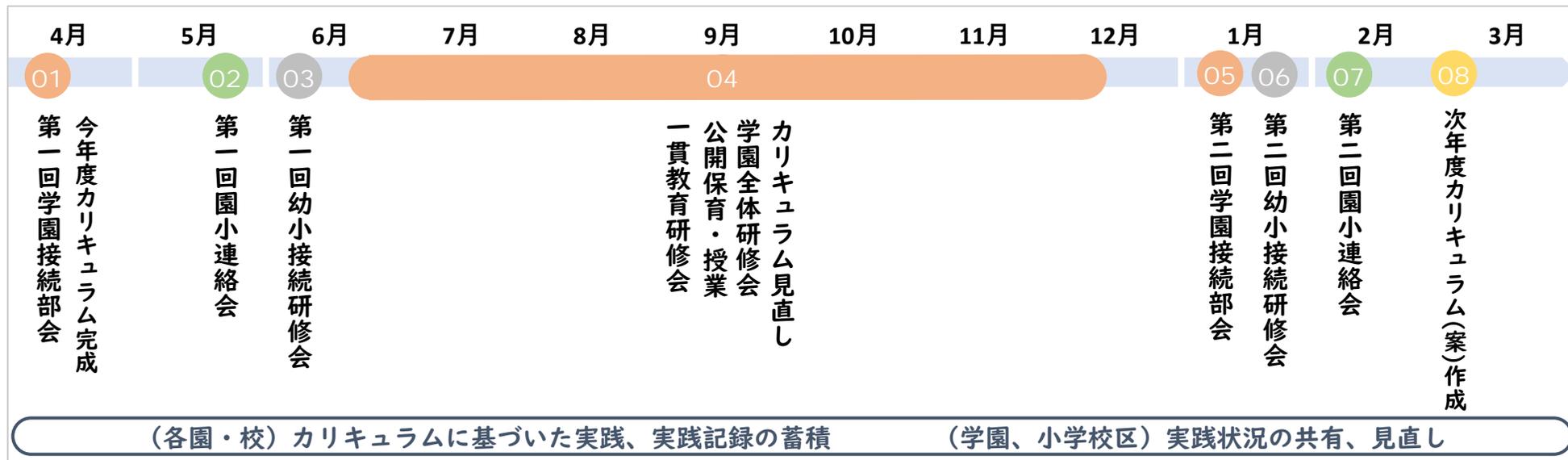


## 【三つの特徴】

- 国語、算数等の教科の枠組みにとらわれず、子供たちの実態に応じて「せいかつタイム」「なかよしタイム」「まなびタイム」の三つの活動を設ける。
- 子供たちの集中が持続する時間や意欲の高まりを大切にするとともに、学習内容や活動に応じて15分単位や2時間続きの時間を設定する。
- 園で慣れ親しんできた生活リズムに配慮し、遊びを中心とした学びからスタートなど、教科にとられない時間を登校後に確保する。

# 8 「かけがわ型架け橋カリキュラム」の取組の流れ

以下のスケジュールを基本にして、「かけがわ型架け橋カリキュラム」に取り組みましょう。



<b>01 第1回学園接続部会</b> 昨年度末に前任が作成したカリキュラムを、今年度の子供の実態に合わせて加除修正したものを持ち寄り、共有する。 <u>学園で統一したジョイント活動を一つ位置付ける。</u>	<b>02 第1回園小連絡会</b> ①1年生の子供の姿を見て、育ちを共有する。 ②カリキュラムを基に、実際の子供の姿から保育・授業のつながりを話し合う。	<b>03 第1回幼小接続研修会</b> ①小学校区または学園で、今年度実施するジョイント活動について語り合い、互いの教育の理解を深める。 ②カリキュラムを持ち寄り他園・校と情報交換をする。	<b>04 一貫教育研修会</b> ①保育・授業を見合い、全職員の互いの教育の理解を深める。 ②カリキュラム実施状況の共有と見直しをする。
<b>05 第2回学園接続部会</b> ジョイント活動を核に、今年度の実践の振り返りと、次年度のカリキュラムの方向性(目指す子供の姿、職員と子供の交流計画)を共有する。	<b>06 第2回幼小接続研修会</b> ①今年度のジョイント活動の実践を中心に他園・校と情報交換する。 ②小学校区または学園で、次年度のカリキュラムについてジョイント活動を核に保育・授業のつながりを話し合う。	<b>07 第2回園小連絡会</b> ①年長児の子供の引継ぎをする。 ②園・学校生活の一日の流れ等について互いに聞き合う。(p.7参照)	<b>08 次年度カリキュラム作成</b> 今年度の成果と課題をふまえ、学園接続部会と幼小接続研修会の話し合いを基に、担任・学年部を中心に次年度のカリキュラムを作成する。実践できそうなジョイント活動をカリキュラムに複数位置付ける。

上記は、本書のp.7,8の **園・校** **小学校区** **学園** **市** の取組内容と連動しています。



【 学園 】 かけがわ型架け橋カリキュラム Ver. 2		【 小学校 】		
育みたい資質・能力	◎実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」 ◎学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」			
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (資質・能力が育っている具体的な姿)	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現			
未来を切り拓く「3つの創る力」	「創像力 (そうぞうりょく)」先を見通し、考えを収集・分析・整理・統合しながら、新たな価値を生み出していく力 「創合力 (そうごうりょく)」多様な他者と力を合わせ、物事を様々な視点から見つめ、試行錯誤しながら協働する力 「創律力 (そうりつりょく)」自分を見つめつつ、自覚と責任をもち、自ら課題を見つけ、学び、行動し続ける力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連性 ⑥⑧⑩ ③⑤⑨⑩ ①②④⑤⑦	園小接続のポイント(園と小学校間)	
学園の目指す子供の姿	●●●●●			
小学校の目指す子供の姿	【学校目標】 ●● 【重点目標】 ●●			
1年生の学年目標	●●●●●			
育ってほしい姿	【4月当初の実態(卒園時の姿を園から聞き取る)】	(上段の目指す子供の姿をうけ、育ってほしい児童の姿を記入してください。)	【1年生修了時の目指す姿】	
時期	小学1年生 前期 (4月 5月 6月 7月 8月 9月)		小学1年生 後期 (10月 11月 12月 1月 2月 3月)	
ねらい	【●●期】 (●月●日～●月●日)	【●●期】 (●月●日～●月●日)	【●●期】 (●月●日～●月●日)	
園小接続の配慮事項	・自分の思いが安心して話せるような、雰囲気づくりに努める。 ・話を聞く時に、分かりやすくなるよう、実物を見せたり、視覚的支援を行ったりする。 ・のびのびと安定した気持ちで生活できるよう、活動の流れに沿って時間や場を構成し、ゆとりをもてるようにする。			
活動当番	◎学習環境の工夫(材料や道具の配置・視覚に訴える表示等) ◎園の生活や経験を子供から聞く ◎園の生活や経験を生かす声掛けや支援 ◎生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫 ◎生活に即した学びの構成(子供の思いや気づきをきっかけに) ◎弾力的な時間割の工夫			
生活科を中心とした合科的・関連的な活動	<b>「しょうがっこうとなかよし」</b> 4・5月【生活科】「はじまるよ しょうがっこう」 ・自分でできるよ ・みんなで遊ぼう ・どんなことをするのか 4・5・6月【生活科】「がっこうたんけん」 ・学校探検に行こう みんなで行ってみよう もっと見つけたいな 見つけたよ もっと詳しく知ろう お話を聞かせてください たくさん見つけたよ、わかったよ 4月【国語】 「なんていおうかな」 「どうぞよろしく」 「こんなものみつけたよ」 5月【国語】 「よくきいて、はなそう」 「としよかんへいこう」 「ことばをさがそう」 4月【体育】 「ならびっこ」 4・5月【算数】 「10までのかず」「いくつといくつ」 4・5月【道徳】 「たのしいがっこう」 「あいさつのあるいちにち」 4月【●●】 4・5月【特別活動】	<b>「みんなとなかよし」</b> 5・6・7・8・9・10・11月【生活科】★「わたしのあさがお」 ・種を植えよう ・世話をしよう ・種をとりよう ・思い出してみよう 6・7月【生活科】★「あそびにいこうよ」 ・見つけた春で遊ぼう ・雨と遊ぼう ・水や土で遊ぼう 6月【国語】 「わけをはなそう」 「あいうえおであそぼう」 「おおきくなった」 7月【国語】 「すきなこと、なかに」 「こんなことがあったよ」 5・6月【算数】 「あわせていくつふえるといくつ」 6・7月【図工】 「すなやつちとなかよし」 「カラフルいろみず」 ●月【行事】 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 ●月【●●】 「●●」 6・7月【体育】 ★「水あそび」	<b>「しぜんとなかよし」</b> 10・11月【生活科】★「あきわたのしも」 ・秋を楽しもう ・見つけた秋で遊ぼう ・みんなで遊ぼう 9・10月【生活科】★「生きもの大ずき」 ・虫と仲良くなる 9・10月【生活科】★「虫 大ずき」 ・虫と仲良くなる 9月【国語】 「みんなにしらせよう」 「みんないしらせよう」 「かずとかんじ」 10・11月【国語】 「しらせたいな、見せたいな」 「ことばをたのしもう」 9・10月【算数】 「いくつあるかな」 「10よりおおきいかずをかぞえよう」 「なんじ なんじはん」 「かたちあそび」 12月【国語】 「てがみでしらせよう」 11・12月【道徳】 「ルンルンルン」 「おふるぼそうじ」 ●月【行事】 10・11月【算数】 「たしざん」「ひきざん」 12月【算数】 「くらべてみよう」 10・11月【図工】 「ならべてならべて」「いっぱいつかってなにしよう」	<b>「もうすぐ2年生」</b> 11・12・1月【生活科】★「ありがたうがいっぱい」 ・家の仕事に挑戦しよう ・みんなに伝えよう 2・3月【生活科】 「もうすぐ2年生」 ・1年生を振り返ろう ・もうすぐ2年生 1・2月【生活科】 ★「ふゆをたのしもう」 ・風と遊ぼう・雪や氷で遊ぼう 1・2月【国語】 「くわしくきこう」 「これは、なんでしょう」 2・3月【国語】 「いいこといっぱい、1年生」 3月【算数】 「1年のまとめをしよう」 ●月【●●】 1月【音楽】 ★「にほんのうたをたのしもう」 2・3月【音楽】 「みんなであわせてたのしもう」
交流	♡ 5月 運動会に招待しよう ◇ 4月 入学式(園長・前年度年長担任) ◇ ●月 学園接続部会(カリキュラム共有) ◇ 5月 園小連絡会(1年生授業参観、保育・授業のつながりを協議)	♡ ●月 ●● ♡ 10月 就学時健診 ◇ 8月 ●●園と夏季合同研修会	♡ 10月 生活科 ●●公園と一緒に秋探しをしよう ♡ 11月 生活科 「秋のお店屋さん」に年長さんを招待しよう ◇ ●月 一貫研●●小公開授業 ◇ ●月 一貫研●●園公開保育(園長講話)	♡ ●月 生活科 年長さんに●●小を紹介しよう ♡ 2月 5年生と交流 ◇ 2月 園小連絡会(年長児情報交換) ◇ 3月 卒園式(校長) ◇ ●月 学園接続部会(カリキュラム振り返りと次年度の方向性)

【 桜が丘 学園】かけがわ型架け橋カリキュラム Ver. 1

【 掛川こども 】園

育みたい資質・能力	◎実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能の基礎」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力などの基礎」 ◎学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」			
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (資質・能力が育っている具体的な姿)	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現			
未来を切り拓く「3つの創る力」	「創像力(そうぞうりょく)」 「創合力(そうごうりょく)」 「創律力(そうりつりょく)」	先を見通し、考えを収集・分析・整理・統合しながら、新たな価値を生み出していく力 多様な他者と力を合わせ、物事を様々な視点から見つめ、試行錯誤しながら協働する力 自分を見つめつつ、自覚と責任をもち、自ら課題を見つけ、学び、行動し続ける力	園小接続のポイント(園と小学校間) ・公開保育を行い、園での学びの様子を見てもらう ・園便りを学校にも配付し、情報交換する ・子ども同士の交流会を実施する ・合同研修会を実施する	
学園の目指す子供の姿	(中学校での姿)・自分で考え判断し、責任ある行動をとれる生徒・主体的に集団に関わり、社会に役立つ生き方を目指す生徒			
園の目指す子供の姿	【園目標】自分の気持ちに気づき、仲間と元氣よく遊ぶ子 【重点目標】【興味を持って取り組む子】【意欲的に遊ぶ子】【最後までやりぬく子】			
年長児の目標	友達との関わりを十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組み、充実感を味わう			
育つてほしい姿	【年中児3月の姿】 ・年長への進級に期待をもち、友達との関わりの中で、表現しながら遊びを楽しむ ・年長児の姿を見ながら、一緒に楽しんだり、挑戦したりする姿が見られる (縄跳び、マラソン、ドッジボール、リレーなど)	【育ってほしい姿】 ・基本的な生活習慣が身につく、健康で安全に生活をつくり出せるようになる ・運動機能の発達により、複雑な動きが可能になる ・言葉によって共通のイメージをもって遊んだり、目的に向かって集団で行動するようになる ・集団の中で生活しながら、一人一人が自分の考えや思いを友達に伝えられるようになり、気持ちよく生活するために協力する必要性を感じられるようになる	【卒園時の目指す姿】 ・仲間同士でアイデアを出し合ったり、助け合ったりする ・友達と協力して役割を理解し、目的を達成できるようにする ・友達と一緒に生活したり遊んだりする中で、ルールを守ることの大切さを知る ・日常生活に必要な言葉を使い、伝言、質問、応答、報告ができるようになる	
時期	1期(4月5月)	2期(6月7月8月)	3期(9月10月11月12月)	
期の中身	・新しいクラスや環境に慣れ、見通しをもって生活する ・生活の流れがわかり、年長としての自信をもって、身の回りのことを進んで行う ・春の草花や虫などに興味をもって遊ぶ	・自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け入れながら、遊びを楽しむ ・水や泥の感触に触れ、全身を使って思い切り遊ぶ楽しさを味わう ・野菜や花の生長を見たり、生き物を飼ったり、自然と関わって遊び、発見したり、考えたりする	・楽しみながら、みんなで協力して1つの目標に向かい、達成感を味わう ・体を動かす心地よさを感じながら、運動遊びを楽しむ ・歌、楽器、劇遊びなど、友達と一緒に表現することを楽しむ ・季節の変化に気づき、自然物を集めて遊ぶなど、秋の自然に触れて遊ぶ	・競い合ったり、必要なルールを考えたりしながら、友達と遊ぶ楽しさを味わう ・小学校の生活に期待や憧れの気持ちをもつ ・自分の役割を最後までやり切ったり、協力してやり遂げたりする経験を重ねる
○環境 援助 ・支援	○園生活に必要な決まりやルールを再認識し合い、年長になった 自覚をもてるようにしていく ○保育者が遊びの仲間に加わり、一人一人と関わりながら信頼 関係を築いていく ☆遊びの環境は、保育者が思いをもった上で、自然に発生した言 葉をよく聞いたり、要求を受け入れられたりしながら、必要な物 をそろえていく ☆色、文字、数量、形などについての興味関心を生活の中でも するような環境や働きかけをしていく	○遊びの中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け入れられるよ うに、一人一人の思いに共感したり、他の子にも知らせたりしていくことで、刺 激を受け合いながら遊びを進めていけるようにしていく ○動植物の世話をする中で、気づいたこと、発見や喜び、悲しみ等を保育者 や友達と一緒に味わったり、話し合ったりする ☆制作遊びや共同の用具の片付けを通して、物を大切にすることを育て ている。片付けの場所をわかりやすく示す	○友達の話や工夫しているところを知らせ、互いに認め合ったり、励ま し合ったりする姿を大切にする ○遊びの中の子ども同士の葛藤の場を大切に、自分の思いを通すだけ なく、友達の考えも受け入れられるようにしていく ☆様々な素材や玩具等を用意し、興味をもって取り組んだり、工夫しながら 遊びを深めていけるようにする ☆子どもたちの欲求する遊びに関する環境を、一緒に準備したり再構成し たりしていくことで、自主的に取り組むことができるように、援助する	○当番活動や、手伝いなど、自分の役割に責任をもって行い、集団の一 員としての経験を重ねていく ○園生活を振り返り、個々の成長を認めていく ☆環境認識や、当番活動等の生活の中で、自分の考えや思いを発言す る機会を増やし、人前で話すことに慣れていく ☆小学校の生活に期待がもてるような、掲示物、用具などを用意したり、 机や椅子を並べたりして、学校ごっこ等を楽しむ ☆カレンダーや予定表などで卒園までの日を確認できるようにする
活動・経験	【生活習慣】基本的な生活習慣を身につけよう ・手洗いの習慣・食器を持って姿勢良く食べる・いろいろな味を知る ・着脱をもっと自分で判断して進捗に向かう・自分で衣服の調節を行う	・自分で着替える後始末までしっかり行う ・食事のマナーを守り、食べることに集中する・自分の食べられる量を知り、量を調節する ・着の正しい持ち方を知る・排泄の後始末を上手に行う・寒れを感じた時に必要に応じて休息をとる	・靴を揃える、自分の物を整理できるなど、管理できるようになる ・身の回りのことが手順よくできる・適度に休息がとれる ・手洗いは、次の人のことも考えて使う	・清潔に感心せよ、髪をとかず、服装を整えようとする ・自分の体や健康に関心をもつ・身体と食べ物との関係に興味をもてる ・苦手な物も自分から食べる
★ジョ イント 活動	【当番活動】生活の環境を整えよう・清掃活動(掃き掃除、銅管、雑巾かけ、靴箱清掃・整理整頓、拭き水、水道)・給食当番(拭き、配膳など)・当番活動(一人一発表) 【戸外遊び・運動】体を思いきり動かして遊ぼう・固定遊具(鉄棒、雲梯、登り棒、平均台、ジャングルジム)・ブランコ・ボルダリング・ロープ登り・ラダー登り)・木登り 【毎日体操】(室内)・サーキット(ジャンプ・バランス・よじ登りなど) 着地、家づくり 犬集団遊び(鬼ごっこ、リレー、ドッジボールなど)			
環境	【自然環境】自然と触れ合って遊ぼう 豊産し(さくら・つくし・たんぽぽ・ハルジオン・シロツメクサなど) 虫探し(アゲハチョウ・ジャコウチン・チョウ など)	風の集・梅ジュース作り・雨の日散歩 虫探し、観察(ダンゴムシ・オタマジャクシ・カタツムリ・ザリガニ・バッタ・カマキリなど) しやぼん玉 水色あそび 砂、泥 水遊び、プール遊び	虫探し、観察(虫の鳴き声キリギリス・コオロギ・節足動物など) 秋探し(栗木の葉・落ち葉・木の葉・どんぐり・松ぼっくりなど)	冬の自然(気温・草木の様子・霜 霧柱・氷・水作り) 冬野菜収穫クッキング 花一人一鉢(ハンジー)・葉の花
♡園小 連携	【園外保育】・白泉寺(桜見学・春祭)・天浜線に泉車 中央公園 ・家代の星1丁目公園・3丁目公園・さくらぎこども館・宇列山公園 ・桜木小学校・島田ゆめらいパーク・大井神社			
言葉	【室内遊び】友達と思い伝え合って遊ぼう・構成(積み木、ブロック、カプラ、道路など)・机上(パズル、ボードゲーム、かるた、トランプなど)・絵本、図鑑・ままごと、模倣、役割遊び・おりがみ ☆遊びの中にある歌 お正月遊び(すごろく、福笑い、コマ回し、羽子板など)・編み物(マフラー)・学校ごっこ			
表現	【環境認識】身の回りの環境に目を向けよう・思ったことを話したり、先生や友達の考えを聞く 4月 室内の環境を知ろう 4月 5月春・植物	6月 交通、乗り物 7月 物質・素材	9月 天気気候 10月 動物 11月秋・植物 12月 職業・家族	1月 冬 2月 春 3月 四季
行事	【わらべうた 文学 詩】(ねない) 鼓動を意識して・大きい音小さい音・はやい、ゆつり・内的聴感・音色区別・清潔に歌う・リズム・高い音、低い音・役交代・ルールのあるわらべうたあそび			
支援	【制作あそび】作ることを楽しむ ・こいのぼり作り・母の日制作(お母さんの絵のコースター作り)・唐草遊び ・乗り物を作ってみよう(平面)・父の日制作(紙粘土で顔づくり) ・七夕飾り・ランタン作り ・万国旗作り・敬老の日の手紙(手型・模様や顔を描く) ・秋の自然物を使って作るう・さつまいものつるのリース作り・発表会の大道具作り ・節分制作・ひな人形制作			
行事	【行事】季節の行事に親しもう・親子遠足・こどもの日の集い 防災訓練 4月(地震) 5月(地震) ・交通安全教室・花火教室 プールばらき・七夕・夏まつり ・お楽しみ会 防災訓練 6月(火災) 7月(火災) 8月(地震) ・万国旗作り・敬老の日の手紙(手型・模様や顔を描く) ・秋の自然物を使って作るう・さつまいものつるのリース作り・発表会の大道具作り ・節分・ひなまつり・卒園式 防災訓練 1月(地震) 2月(火災・消火訓練) 3月(火災)			
支援	・就学時相談・宇列山公園秋祭(桜木小1年生との交流)・小学校秋ランド ・小学校まで歩いてみよう(学校見学 桜木小1年生と交流遊び)			
支援	4月 入学式(園長・前年度年長担任) 5月 園小連絡会(1年生授業参観、保育・授業のつながりを協議) 6月 桜が丘学園一貫校教育研究会 7月 一貫校公開保育(公開保育後にグループ討議・ジョイント活動についての話し合い) 8月 園小連絡会(桜木小にて) 10月 架け橋カリキュラム開発研究公開保育・桜木小公開授業 12月 桜が丘学園一貫校教育研究会			

【 桜が丘 学園 】 かけがわ型架け橋カリキュラム Ver. 1

【 桜木 】 小学校

育みたい資質・能力	◎実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」 ◎学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」			
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (資質・能力が育っている具体的な姿)	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現			
未来を切り拓く「3つの創る力」	<b>「創像力（そうぞうりょく）」</b> 先を見通し、考えを収集・分析・整理・統合しながら、新たな価値を生み出していき <b>「創合力（そうごうりょく）」</b> 多様な他者と力を合わせ、物事を様々な視点から見つめ、試行錯誤しながら協働する力 <b>「創律力（そうりつりょく）」</b> 自分を見つめつつ、自覚と責任をもち、自ら課題を見つけ、学び、行動し続ける力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との主な関連性 ⑥⑧⑩ ③⑤⑨⑩ ①②④⑤⑦	園小接続のポイント(園と小学校間)	
学園の目指す子供の姿	大志 共生 挑戦 ①自分で考え判断し、責任ある行動がとれる生徒 ②主体的に集団や社会に関わり、社会に役立つ生き方を目指す生徒			
小学校の目指す子供の姿	【学校目標】 大志 共生 挑戦 【重点目標】 チャレンジしよう ～自分から みんなで～			
1年生の学年目標	みんなできいっぽ			
時期	小学1年生 前期 (4月 5月 6月 7月 8月 9月)		小学1年生 後期 (10月 11月 12月 1月 2月 3月)	
ステージ	【やってみようステージ】(4月5日～7月23日) ・自分のことは自分でできる。・できることを増やそうとする。・1日1回発表する。 ・学校のきまりを知る。	【広げようステージ】(8月29日～12月23日) ・学校のリズムに合わせて自分のことができる。・あきらめずにチャレンジする。 ・相手に伝えるように伝える。・学校のきまりを守ろうとする。	【つなげようステージ】(1月7日～3月18日) ・友達と学び合って活動する。・自信をもって発表・自分の成長を認め、次学年への意欲をもつ。・学校のきまりを守る。	
育ってほしい児童の姿	【4月当初の実態(卒園時の姿を園から聞き取る)】 ・小学校への期待を膨らませると同時に、新しい環境への不安な気持ちが生 活に表れ、不安定になる子もいる。 ・友達と遊びを共有しながら楽しむ姿がある。	・学校のリズムにのって生活する。 ・友達と関わり、友達と活動することを楽しむ。 ・めあてをもって生活し、できるようになったことを喜ぶ。	【1年生修了時の目指す姿】 ・時間を守って活動する。 ・友達と学び合いながら活動することを楽しむ。	
園小接続の配慮事項	・自分の思いが安心して話せるような、雰囲気づくりに努める。 ・話を聞く時に、実物を指せたり、視覚的支援を行ったりする。 ・のびのびと安定した気持ちで生活できるよう、活動の流れに沿って時間や場を構成し、ゆとりを認めるようにする。 ・朝の支度の時間を十分に確保し、朝のスタートをスムーズにする。 ・給食の時間を十分にとり、給食の支度や当番のやり方を覚える。 ・15分×3のユニット構成にして、集中力が維持できるようにする。 ・1日1回10分程度、外遊びの時間を設定し、集中力の維持を図る。	・友達と活動を楽しめるよう、物的・空間的な環境の構成と時間の配慮を する。 ・45分の授業に徐々に近づけていく。 ・5月から6年生が補助をしながらの掃除を始める。 ・6月より火、水曜日を5時間に する。	・9月より木、金曜日を5時間とする。 ・自分たちで時間を見て行動できるようにする。 ・課題解決に向けて、方法を自己選択することで話し合い活動が充実するよ うにする。 ・5月から6年生が補助をしながらの掃除を始める。 ・6月より火、水曜日を5時間に する。 ・学校生活の課題について、自分たちで話し合いよりよくなる。	
活動当番	◎園の生活や経験を生かす声掛けや支援 ◎生活科を中心とした総合的・関連的な指導の工夫 ◎生活に即した学びの構成(子供の思いや気づきをきっかけに) ◎弾力的な時間割の工夫 ◎学習環境の工夫(机の配置・視覚に訴える表示等)【別冊P12～15参照】			
生活科を中心とした総合的・関連的な活動	「しょうがっこうとなかよし」 4・5月【生活科】「はじまるよ しょうがっこう」 ・自分でできるよ ・みんなで遊ぼう ・どんなことをするのかな 4・5・6月【生活科】「がっこうたんけんいこう」 ・学校探検に行こう みんなで行ってみよう もっと見つけたいな 見つけたよ ・もっと詳しく知ろう お話を聞かせてください たくさん見つけたよ、わかったよ 4月【国語】 「どうぞよろしく」 「こんなものみつけたよ」 「よくきいて、はなそう」 5月【国語】 「としよかんへいこう」 「ことばをさがそう」 4月【体育】 「ならびっこ」 4・5月【算数】 「10までのかず」「いくつといくつ」 4・5月【道徳】 「たのしいがっこう」 4月【行事】 1年生をむかえる会 4・5月【音楽】 ★「うたつたおどってなかよくなる う」 4・5月【特別活動】 ★「どんたうぼうがひつようかな」	「みんなとなかよし」 5・6・7・8・9・10・11月【生活科】★「わたしのあさがお」 ・種を植えよう ・世話をしよう ・種をとりよう ・思い出してみよう 6・7月【生活科】★「あそびいこうよ」 ・見つけた春で遊ぼう ・雨と遊ぼう ・水や土で遊ぼう 6月【国語】 「わけをはなそう」 「あいうえおであそぼう」 5・6月【算数】 「あわせていくつふえるといく つ」 7月【図工】 ★「カラフルいろみず」 6月【図工】 「すなや土と なかよし」 6・7月【算数】 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 「なんばんめかな」「いくつあるかな」 6・7月【体育】 ★「水あそび」	「しぜんとなかよし」 10・11月【生活科】★「あきわたのしもう」 ・秋を楽しもう ・見つけた秋で遊ぼう ・みんなで遊ぼう 9・10月【生活科】★「生きもの大すき」 ・仲良くなる 9・10月【生活科】★「虫 大すき」 ・虫と仲良くなる 9月【国語】 「みんなにいらせよう」 「くわしく、きこう」 「かずとかんじ」 10・11月【国語】 「しらせたいな、見せたいな」 「ことばをたのしもう」 9・10月【算数】 「10よりおおきいかずをかぞ えよう」 「なんじ なんじはん」 10月【図工】 ★「いっばいつ かつたにし しよう」 10・11月【算数】 「たしざん」「ひきざん」 12月【算数】 「くらべてみよう」 9月【道徳】 「てがみでいらせよう」 12月【道徳】	「もうすぐ2年生」 11・12・1月【生活科】★「ありがとうがいっばい」 ・家の仕事に挑戦しよう ・みんなに伝えよう 2・3月【生活科】 「もうすぐ2年生」 ・1年生を振り返ろう ・もうすぐ2年生 1・2月【生活科】 ★「ふゆわたのしもう」 ・風と遊ぼう ・雪や氷で遊ぼう 1・2月【国語】 「くわしく、きこう」 「これは、なんでしよう」 2・3月【国語】 「いいこといっぱい、一年生」 1・2月【算数】 「おおきいかずをかぞえよう」 「なんじなんぶん」 「かずしらべ」 3月【算数】 「1年のまとめをしよう」 1月【音楽】 ★「にほんのうたをたのしもう」 2・3月【音楽】 みんなであわせたのしもう
子供の交流			10月生活科(秋探し) 11月就学時健診 12月生活科(秋ランドに年長さんを招待しよう) 2月小学校ってどんなところ？(年長さん小学校訪問)	
職員交流	4月入学式(園長) 4月期の活動参加・給食の様子(こども園職員) 5月園小連絡会(1年生授業参観・情報共有)	6月桜が丘学園一貫研究会(中学校授業参観・接続部会) 7月公開保育参観・園長講話・保育と授業のつながり協議 8月架け橋研修(小学校教員・園保育者合同研修)	10月園運動会(校長) 12月桜が丘学園一貫研究会(小学校授業参観・接続部会)	1月園小連絡会(年長児情報交換) 3月卒園式(校長)

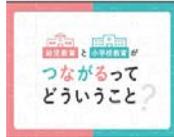
育みたい資質・能力	◎実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能の基礎」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力などの基礎」 ◎学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」		
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (資質・能力が育っている具体的な姿)	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現		
未来を切り拓く「3つの創る力」	「創像力 (そうぞうりょく)」 「創合力 (そうごうりょく)」 「創律力 (そうりつりょく)」	先を見通し、考えを収集・分析・整理・統合しながら、新たな価値を生み出していく力 多様な他者と力を合わせ、物事を様々な視点から見つめ、試行錯誤しながら協働する力 自分を見つめつつ、自覚と責任をもち、自ら課題を見つけ、学び、行動し続ける力	園小接続のポイント (園と小学校間)
学園の目指す子供の姿	ともに高め合い 夢に向かってがんばる子		
園の目指す子供の姿 【5歳学年目標】	【園目標】 ワーイ！が響き合うこども園 【重点目標】 みつけよう やってみよう おはなししよう 友達と力を合わせて目的に向かい遊びを進める子		
時期	1期 (4月・5月)	2期 (6月・7月・8月)	3期 (9月・10月・11月・12月)
ステージ	進級したことを喜び、 年長の自覚を持って意欲的に行動する時期	友達とのつながりが深まり、目的をもって遊ぶ時期	友達との共通の目的をもって、 遊びを発展させる楽しさを味わう時期
ねらい	・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・年長になったことを喜び、意欲的に行動する。 ・当番活動に意欲を持ち、喜んで取り組む。	・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら、遊ぶ楽しさを味わう。 ・自分なりに目的をもって、友達と夏の遊びを楽しむ	・共通の目的に向かって友達と考えを出し合いながら、協力して活動に取り組む。 ・作り上げることを楽しみにしながら1つの事をじっくりと取り組む。
育ってほしい姿	・所持品の始末や使ったものの片づけを進んで行う。 ・園生活の約束を確認し守るようになる。 ・新しいクラスの友達と一緒に喜んで活動に取り組む。 ・当番活動に興味をもち、喜んで取り組む。(当番活動) ・必要な道具や用具の使い方に慣れる。(当番活動) ・身近な草花から色の抽出できることを楽しんだり、遊びに使ったりする。(色水遊び)	・素材の特性に気付き、試したり、工夫したりして自分なりに工夫して遊ぶ。(泥・泡遊び) ・プール遊びで、顔つけや浮かぶなど、自分なりの目標をもって取り組む。 ・栽培活動や、調理活動を通して食べ物に関心をもったり、種ができる植物に興味をもったり生長を楽しみにする。 ・集団の中で共通の話題について自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりする。(泥・泡遊び) ・身近な生き物に興味や関心をもち、生態や飼育方法を調べたり飼育したりする。	・運動遊びに興味をもち、競い合って遊ぶことを楽しんだり、目標に向かって挑戦したりする。(運動会) ・友達の良さを認め合いながら、試したり、考えたりして遊びを進めようとする。(しっぽ取り、ドッジボール等の集団遊び) ・苦手なことも自分なりに取り組もうとする。(挑戦遊び) ・生活や遊びの中でルールや約束、時間を守る大切さがわかり守ろうとする。 ・自分が役に立つ喜びを感じ達成感を味わう。(当番活動) ・地域や小学校に出かけ、興味や関心をもつ。 ・サンタさんへの手紙を書いて文字に触れる。
園小接続のポイント	○子どもたちと一緒に生活の場を作る過程を大切にしながら年長になった実感をもてるようにする。 ○新しい玩具や用具の使い方を子どもと一緒に考え、自分たちで約束を守って使えるようにする。 ○色水を使って別の遊びに発展できるようにする。 ○遊びや生活のルールを共有できる場を設ける。 ■話す人の方(前)を見ながら意識もてるよう、興味のある内容を取り入れながら話す。	☆一日の活動内容を表示することで、見通しをもって生活できるようにする。 ○種ができる植物に興味をもてるように話をしたり、視覚教材を用意したりする。 ○泥や泡遊び、プール遊びで自分の目的がもてるように表示したり言葉がけを工夫したりする。 ○一人一人の気持ちに寄り添いながら、友達に伝えたり、クラスで考えたりする機会を大切にすること。 ■聞く姿勢が意識できている子を認めることで、他の子も意識できるようにする。	○リレーや団体競技の作戦を相談したり、協力したりできるよう、十分な時間を確保する。(運動会) ○自分たちで進めていく活動を通して、自己発揮したり、気持ちをコントロールしたりできるよう機会を捉えて援助していく。(運動会のリレーや団体競技・しっぽ取り・ドッジボール) ○遊びや生活のルールを共有し、自分の思いを伝えたり、友達の良さを認めあったりする。 ■話している時は黙って聞く、思いがある時は手を上げてから発言するように伝える。
活動当番	・お当番(帰りの挨拶・給食の挨拶・先生のお手伝い) ・給食当番(果物、副菜の配膳) ・掃除当番(クラス掃除、廊下掃除、水道掃除、靴箱・テラス掃除、先生のお手伝い、3人のこびと(明日の献立)、絵本整頓)		
活動・経験	<p>【生活】 協力して生活の環境を整えよう</p> <p>【クラス活動 学年活動】 みんなで経験する遊び ★プール遊び(顔つけ、潜る、浮かぶ) ★草花を使った色水、砂、泥、泡遊び(創意、工夫、濃度の違い、変化、不思議さ、感覚など)</p> <p>【栽培】 生長や収穫を楽しもう ・食べてみたい夏野菜の栽培5~7月 ・サツマイモのつるさし(6月) ・ジャガイモ、タマネギ収穫(6月) ★種のある草花で遊ぼう(5月~9月)(あさがお、ふうせんかずら、ひまわり)</p> <p>【共同購入の絵本】 ・はじめてのおつかい ・キャベツくん ・どろだんご ・わたし ・そらめくんのべっと ・やさいのおなか ・スイミー ・およく ・めっくらもっくらどおんどん ・あっちゃんあがつ ・ばばあちゃんのやきいもたいかい ・おおきなおきなおいも ・とんぼのうんどうかい ・わっしょいわっしょいぶんぶんぶん</p> <p>年中児に引継ぎ ・畑の引継ぎ式(12月) ・係活動の引継ぎ2月</p> <p>★縄跳び、長縄 ・ドッジボール ・リレー ・劇遊び、遊戯、楽器遊び ・挑戦しよう(鉄棒、雲梯、登り棒、跳び箱、平均台、運動棒、サーキット遊びなど)</p> <p>・劇遊び、遊戯、楽器遊び ・お正月遊び(カルタ、トランプ、コマ) ・毛糸遊び(マフラー作り) ★文字に触れよう(絵本、サンタさんへの手紙、卒園文集)</p> <p>★サツマイモの収穫(11月) ・タマネギ植え(11月) ・親子花育教室、卒園式でお花を飾ろう(11月)ピオラ、キンギョソウ、デージー、パンジー</p> <p>年中児の活動 ・秘密の苗を植えよう(12月)冬野菜キャベツ、ブロッコリー ・ジャガイモ植え(2月)</p> <p>・おしいれのぼうけん ・おおかみと七ひきのこやぎ ・まゆとおに ・しんぶんしてつろう</p>		
★ジョイント活動	<p>入学式(園長、前年度5歳担任) ★園小合同避難訓練(5月) ★学校の校庭で遊ぼう(6月、2月) ★小学校の運動会を見に行こう(5月) ♥保幼小連絡会(1年生授業参観)(5月) ★5年生と小学校で遊ぼう(5月) ♥就学時健診(10月)</p> <p>★秋のお店屋さんに行こう(1年生、11月) ★1年生の授業を見に行こう(2月~3月) ★zoom交流(1年生頑張ったこと発表2月、ふれあいコンサート3月) ♥保幼小連絡会(年長児情報交換、2月) ♥卒園式 ★学年だよりを届けに行く(年間)</p>		

【大浜 学園】かけがわ型架け橋カリキュラム Ver. 1

【大坂】小学校

育みたい資質・能力		◎実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」 ◎未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」 ◎学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」				
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (資質・能力が育っている具体的な姿)		①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現				
未来を切り拓く「3つの創る力」	「創像力(そうぞうりょく)」先を見通し、考えを収集・分析・整理・統合しながら、新たな価値を生み出していく力	⑥⑧⑩ ③⑤⑨⑩ ①②④⑤⑦	園小接続のポイント(園と小学校間)			
	「創合力(そうごうりょく)」多様な他者と力を合わせ、物事を様々な視点から見つめ、試行錯誤しながら協働する力					
	「創律力(そうりつりょく)」自分を見つめつつ、自覚と責任をもち、自ら課題を見つけ、学び、行動し続ける力					
学園の目指す子供の姿	ともに高め合い夢に向かって頑張る子					
小学校の目指す子供の姿	【学校目標】心の鐘をひびかせる子…目標に向かって夢中になって活動する中から、個々の頑張りと仲間の関わりから生まれる感動を目指し努力続ける子					
1年生の学年目標	【重点目標】ならそう 自分の鐘 ひびかせよう みんなの鐘…主体的に取り組むこと、協働して取り組むためのコミュニケーション					
1年生の学年目標	わくわく にこにこ ぐんぐん(わくわく挑戦 みんなにこにこ ぐんぐん成長)…主体的に取り組む、みんなで協力して、成長し続ける子					
時期	小学1年生 前期(4月 5月 6月 7月 8月 9月)		小学1年生 後期(10月 11月 12月 1月 2月 3月)			
ステージ	【つくる期】(4月5日~5月31日) ・学びのルールを身に付けている子。自分の考えをつくる子。 ・友達と進んで関わる子。	【広げる期】(6月3日~10月11日) ・自分の考えを伝えたり、仲間の考えに反応したりする子。 ・目標に向かって挑戦する子。	【のぼす期】(10月15日~12月20日) ・「なぜ?」「どうして?」を大切に、自分の考えを深める子。 ・励まし合い高め合う子。			
■大浜学園の園児の姿	【4月当初の実態(卒園時の姿を園から聞き取る)】 ・皆と同じことができる。 ・苦手なことにも取り組めるようになる。 ・小学校の生活やルールを知る。 ■学びのルールを身に付ける、自分の考えをつくる。	・学習のルールを理解し、意欲的に学びに取り組む。 ・生活のきまりやマナーを守って生活することができる。 ■自分の考えを伝えたり、仲間の考えに反応したりする。	・友達と意見を伝え合ったり、同じ目標に向かって協働したりして、学びを深める。 ・学級の一員として、自分の役割や行動の仕方について考えることができる。 ■「なぜ?」「どうして?」を大切に、自分の考えを深める。			
■園小接続の配慮事項	■聞く姿勢をつくる。話す聞くのルールを明確化し、守らせていく。 ・1日の見通しを伝え、考えさせる。 ・45分の枠を分割し、活動を設定する。 ・生活科や体育科等、体を動かす教科を2、3校時に取り入れ、時間割を工夫する。 ・園の経験を生かした活動を取り入れる。(生活科室の環境の工夫) ・あいさつのよさを振り返り、継続してできるよう声かけをする。 ・自分たちで決めたルールを掲示し、伝えていく。	・園の当番活動を生かした、学級の当番・係活動を設定する。 ・小学校の時間割・日課に合った行動ができるようになる。 ・一人一鉢の栽培活動を行う。 ・園外活動を想起させて、校外活動が経験できるようにする。	・学級をよりよくするための自主的な行動を促す。 ・自分たちで時間を見て行動できるようにする。 ・季節に合った体験ができるようにする。 ・授業の一環で、異学年や園との交流を図る。			
◎園の生活や経験を生かす声掛けや支援(褒めかけの質向上、無自覚から自覚的な学びへ、自己選択)◎生活科を中心とした総合的・関連的な指導の工夫◎生活に即した学びの構成(子供の思いや気づきをきっかけに)◎弾力的な時間割の工夫 ◎学習環境の工夫(机の配置・視覚に訴える表示等)						
活動	・学級の当番(学級で必要だと考える活動) ・係活動(学級をよりよくするため、学級で必要だと考える活動) ・給食当番(配膳・机の上の支度など) ・掃除(掃き掃除、雑巾がけなど)					
生活科を中心とした総合的・関連的な活動	「しょうがっこうとなかよし」		「みんとなかよし」	「しぜんとなかよし」	「もうすぐ2年生」	
	4月【生活科】 「はじまるよ しょうがっこう」 「自分でできるよ 一年生になったよ」 「一緒にできるかな うきうき遊ぼう」 ・笑顔の学級	4・5・6月【生活科】「がっこうたんけん」 ・学校探検に行こう ・もっとくわしく知ろう	5・6・7月【生活科】 ★「あそびにうきうき」 ・見つけた春で遊ぼう ・雨と遊ぼう ・水や土で遊ぼう	9・10月【生活科】★「虫 大すき」 ・なかよくならう ・虫となかよくならう	11・12・1月【生活科】★「ありがとうがいっぱい」 ・家の仕事に挑戦しよう ・みんなに伝えよう	2・3月【生活科】 「もうすぐ2年生」 ・1年生を振り返ろう・もうすぐ2年生 ・★年長さんに紹介しよう
	4月【国語】 「どうぞよろしく」 「なんているかな」 「こんなものみつけたよ」	5月【国語】 「よくきいて、はなそう」 「としよかんへいこう」	6月【国語】 「わけをはなそう」 「あいさつおであそぼう」 「おおきくなった」	7月【国語】 「すきなこと、なかに」 「こんなことがあったよ」	9月【国語】 「みんなにしらせよう」 「かずとかんじ」	10・11月【国語】 「しらせたいな、見せたいな」 「まちがいをなおそう」
	4・5月【体育】 「ならびっこ」 ★「鬼遊び・走の運動遊び」	4・5月【算数】 「10までのかず」「なんぼんめかな」 「いくつといくつ」	5・6月【算数】 「あわせていくつ ふえるといくつ」	7月【算数】 ★「すなやつちとなかよし」	9月【音楽】 「どれみとなかよくならう」	10・11月【算数】 「10よりおおきいかずをかぞえよう」「なんじ なんじはん」「かたちあそび」
4・5月【道徳】 「たのしいがっこう」 「あいさつのあるいちにち」	4・5月【音楽】 「うたっておどってなかよくならう」	6・7月【音楽】 「うみ」 「みまわりのおとにみみをすまそう」「はくのにってリズムをうとう」	6・7月【算数】 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」「なんぼんめかな」「いくつあるかな」	9・10月【算数】 「10よりおおきいかずをかぞえよう」「なんじ なんじはん」「かたちあそび」	11・12月【算数】 「ようすをおもいうかべよう」	
4月【教科外】 「手遊び」「朝・帰りの会」 「読み聞かせ」	4・5月【行事】 「1年生となかよくならう」 「運動会」	6月【行事】 「コミュニティ公園へ行こう」	6・7月【体育】 ★「水あそび」	10・11月【行事】 「コミュニティ公園へ行こう」「真永寺」「秋のおもちゃランドを開こう」	11・12月【行事】 「ようすをおもいうかべよう」	
★ジョイント活動	職員交流【1年担、教務、前年度5歳児担】 園小連絡会 (児童の情報共有、カリキュラムの確認)	職員交流【1年担、教務、前年度5歳児担】 ジョイント活動の共有 (環境設定、道具、様子など)	職員交流(TELにて) 【1年担、前年度5歳児担】 ジョイント活動の共有 (環境設定、道具、様子など)	職員交流【1年担、教務、5歳児担】 園小連絡会 (ジョイント活動確認)	職員交流【1年担、教務、5歳児担】 園小連絡会 (ジョイント活動確認)	
職員交流【全職員】大浜学園園校交流(中学校参観、小学校参観、こども園参観)						

## 関連・参考資料



幼児教育と小学校教育が  
つながるってどういうこと？  
(文部科学省HP)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/youchien/mext\\_02697.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html)



幼児教育  
(静岡県HP)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/school/kyoiku/1003777/yojikyoiku/index.html>



園小の架け橋プログラムの推進  
(掛川市HP)

- ・かけがわ型育ちと学びのジョイントブック
- ・『かけがわ型架け橋カリキュラム』作成に向けて

<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/215463.html>



中学校区学園化構想  
(掛川市HP)

<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9891.html>



未来を切り拓く「3つの創る力」  
(掛川市HP)

<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/727418.html>

## 【令和5・6年度「かけがわ型架け橋カリキュラム開発会議」委員】

委員長	田宮 縁	静岡大学教育学部 教授
副委員長	小澤 直明	かけがわ乳幼児教育未来学会 副会長
副委員長	鈴木 康浩	上内田小学校 校長
委員	平野理枝子	第一小学校 教頭
委員	山梨 規子	すこやかこども園 園長
委員	岡田 博次	桜木こどもの森 園長
委員	原田 留奈	掛川こども園 主幹保育教諭
委員	鈴木有里紗	掛川こども園 5歳児主任 (令和5年度)
委員	小倉美保子	掛川こども園 5歳児担任 (令和6年度)
委員	小林 晃子	おおさかこども園 主幹保育教諭 (令和5年度)
委員	一柳 香織	おおさかこども園 主幹保育教諭 (令和6年度)
委員	植田 里美	おおさかこども園 5歳児担任・幼児リーダー
委員	笹瀬 知沙	桜木小学校 主幹教諭
委員	御園生綾音	桜木小学校 1年担任 (令和5年度)
委員	夏目亜佑美	桜木小学校 1年担任 (令和6年度)
委員	岡戸 良太	大坂小学校 教務主任
委員	小林 万浦	大坂小学校 1年主任
アドバイザー	三輪 直司	県教育委員会義務教育課 教育主任

## 【事務局】

こども希望課		学校教育課	
課長	石田梨江子 (令和5年度)	課長	小関 昌典
課長	岡田 正浩 (令和6年度)	主席指導主事	染葉美智子 (令和5年度)
主席指導主事	齊藤加代子	主席指導主事	後藤志津子 (令和6年度)
指導主事	福島 純子 (令和5年度)	指導主事	鈴木 晶子 (令和5年度)
指導主事	杉本由起子 (令和6年度)	指導主事	宮谷 恵理 (令和6年度)
指導主事	角皆 紀子	指導主事	増田七奈子



©掛川市

「茶のみやきんじろう」